

【議事録】令和3年第2回鳥取県福祉のまちづくり推進協議会整備基準専門委員会

日 時：令和3年8月30日 10:00～12:00

場 所：鳥取県庁第二庁舎災害対策本部室

参加者：別紙のとおり

【概要】

第2回鳥取県福祉のまちづくり推進協議会整備基準専門委員会開催を開催し、意見をいただいた。主な意見は以下のとおり。

【主な意見・質問】

NO	委員名	内容	回答・今後の対応
【議題1】他県のバリアフリー条例の策定状況について			
1	-	・聴覚障害者用の客室が鳥取県にもあるということだが、具体的には？ ・運営されているホテルはあるか？	・設備としては回転灯その他、聴覚障害者に緊急情報を伝達する設備を設けている。 ・平成28年度以降に新築されたホテルはある。鳥取市はグリーンリッチホテル、米子市はルートインホテル。
2	-	・1の質問に関連して、倉吉シティホテルも聴覚障害者の客室を整備している。新築ではなく補助金利用して改修する場合もある。	
3	-	・鳥取県は他県に比べると優秀という理解で良いか？	・全国的にも優れた基準を設けている。他県にあって本県にない基準の追加は今後検討していく。
4	-	・浴室等の基準追加の検討はしているか？	・今のところ検討はしていなかったが、追加して検討する。
5	-	・階段踊り場の手すり設置は義務化して欲しい。	・検討を進める。
【議題2】検討1 バリアフリーの推進（適合率の向上）について			
6	-	・共同住宅の引き下げ案について、既存施設も対象となるか？ ・屋外へ出入口の庇設置も対象か？ ・改築であれば建ぺい率に引っかかるのではないか？	・対象は新築、改築、増築。 ・H28年に改正したので現在も対象。 ・増築する部分の面積が500㎡を超えると対象となる。また、建築基準法では、先端から1m引いたところまでが建築面積に入る。条例では庇の大きさは指定していないので1m以内の庇であれば、建ぺい率に影響はしない。
7	-	・補助制度について教えて欲しい。	・補助金パンフ参照。
8	-	・補助金活用したくても、予算を使い切っている場合が多く、活用できないことが多い。複数年度で設計～建設までの工事は少ない。単年度でも使用できる補助金の仕組みにして欲しい。	・小規模なものであれば流用等を行い、当年度活用していただくことも可能と思う。ある程度活用が進むと予算規模も大きく出来ると思うので、引き続き活用していただきたい。 ・補助制度が未創設となっている町村には、引き続き補助制度の創設を働きかける。

9	-	<ul style="list-style-type: none"> ・クリーニング店にコインランドリーも含まれるか ・テナントビルの用途変更もEV設置の対象となるか 	<ul style="list-style-type: none"> ・含まれる。 ・同一用途であれば対象とならない。また、200㎡以内の用途変更であればEVの設置規定は緩和されている。今回の検討で用途変更にかかるEVの設置緩和を500㎡まで引き上げる検討を行っている。
<p>【議題3】 検討2 整備基準の見直しについて</p> <p>【議題4】 検討3 ロービジョンへの配慮について</p>			
10	-	<ul style="list-style-type: none"> ・ハートフル駐車場の設置基準は？ ・すべての商業施設に設置すると利用者、案内者（タクシー）にとっても利便性が高まると思う。 ・車いす使用者用駐車場屋根とセットで検討して欲しい。 	<p>（福祉保健課）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設置基準や義務付け基準はない。施設からの申出で設置している。 <p>（住まいまちづくり課）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉保健課と協議し検討する。
11	-	<ul style="list-style-type: none"> ・多目的トイレは鳥取市内で何カ所設置されているか？HPで分かるようになっていないか？ ・オストメイト設備等の整備状況が分かる仕組みが必要。（せっかく整備しているのに） ・整備後の維持管理も必要。バリアフリーマップに登録した事業者の多目的トイレを県が定期的に清掃するなどインセンティブを設けるなど、多目的トイレの設置が進む仕組みを検討しては。 	<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリーマップをHPに公開しているが情報が古いので、IoTやDXの情報技術を活用し情報更新の方法・周知の方法を検討する。 ・障害者団体等へ情報提供を行う。 ・清掃は難しいが、維持管理については既に意見をいただいているので、維持管理について指導出来るような仕組みを上記と合わせて検討を進める。
12	-	<ul style="list-style-type: none"> ・IoTやDXを活用したアプリ開発は非常によい取り組み。国が主導的に全国統一した規格を作るべきだが、国の動きは？県は要望しているか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・国が率先してアプリ開発している情報はない。国へ要望はしていない。
13	-	<ul style="list-style-type: none"> ・飲食店の義務付け面積を引き下げる検討をして欲しい。車いす使用者便房は簡易便房でも良い。 ・障害者差別解消法が改正され、民間事業者の合理的配慮が義務化された。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県としても取り組みを進めていくべきと考えているが、コロナ渦で飲食業は厳しい状況下であり面積引き下げは進めにくい。業界と協議して検討する。
14	-	<ul style="list-style-type: none"> ・EVのモニターに変わってタブレットを設置するイメージか？ ・トイレにも1カ所だけでも設置を検討して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・そのイメージ。 ・トイレ内のモニター設置についてはプライバシーの問題が懸念されている。引き続き専門業者と検討してく。
<p>【議題5】 検討4 既存建築物の利活用の推進について</p>			
15	-	<ul style="list-style-type: none"> ・EVの設置免除については当該案で進めて欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・承知した。
<p>【その他】 その他の意見について</p>			
16	-	<ul style="list-style-type: none"> ・ホテルでタブレットを貸し出す等の取り組みについては、誰に向けて情報提供するのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・整備マニュアルに国の取り組み事例を記載し、設計者や施設運営者等へ周知する。

17	-	<ul style="list-style-type: none"> ・車いす使用者客室等を設置しているホテル、旅館の情報を知りたいがHP等を見ても分からない。補助金を活用し改修した物件についても、積極的に情報提供して欲しい。 ・車いす対応に改修した旅館へ行っても、実情を把握していない改修がなされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報提供の仕組みについて、IoT や DX を用いた方策の検討を進める。 ・新築物件についての詳細なバリアフリー情報を持ち合わせていないが、補助金を活用した物件であれば情報提供できる。
18	-	<ul style="list-style-type: none"> ・ロービジョンについて検討していたが非常に嬉しく思った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き専門家の意見等を聞きながら最終案をまとめる。
19	-	<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリー法が改正され、基本構想の中に教育啓発特定事業が追加された。実施主体は市町村だが、県も取り組みを後押しして欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> (住まいまちづくり課) 福祉部局と連携し対応する。 (福祉保健課) 具体的な事業を把握してから検討する。

以上